



歴史ロマン古道ニュース

【発行】歴史古街道団
ホームページ <http://rekkodan.a.la9.jp/>

団長：宮田太郎 TEL.090-7002-3431
本部：〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘

関東の渡来文化遺跡＆古道を歩こう!

－高麗建郡1300年と飛鳥から来た建国の力－

古来、関東に、東西日本を結ぶ交通の大動脈が集まり、そこには多くの文化が交錯していた事実があったからこそ、飛鳥～奈良時代頃に至ったとき、新たな国造りの知恵や仕組みが関東平野において具現化されていった——中央集権の完成を目指した古代国家の試みが、実際に関東に想像以上にダイナミックに及んでいたとしたら…。

日本列島のちょうど中間に位置し、さらには日本一の広さを持つ関東平野だからこそ持ちえた価値があったことにもっと注目したならば、地続きだった東西日本の深い関わりの証はさらに鮮明に見えてくるだろう。

特に武相の境に存在する「多摩丘陵」と、そこを南北に挟むように広がる「武藏野」と「相模野」の三者を一体化した関わりある一つのまとまりとしてとらえることで、これまでにない関東の存在価値がクローズアップされてくる。

これらは複合的な地縁で結ばれているだけでなく、東西日本全体のバランスの中で、何か“特別な国家的使命”をずっと持ち続けていたのではないかと思って止まないのである。

それは人工衛星から写された一枚の写真の中の「関東平野の色」にも端的に表されているといえるだろう。天然自然界が創り上げた、いわば「災害に強いセーフティーゾーン」を示す、「黒い色」で見られる一体化し



埼玉県日高市の勝楽寺“高麗王廟”

た範囲こそ、武藏国と相模国を合わせたエリアに該当する。そしてそのほぼ中心地に「武藏国府」が位置していることは決して偶然ではない。少なくともこの二つのクニをまず一つの関連性の中でとらえることこそ、初めて今まで知り得なかつた国家的な施策のねらいも見えてくるのかもしれない。中でも歴史

環境の片鱗が、残された緑地帯の中に遺存する「多摩丘陵」にこそ、それらの証も眠っている——そう確信したからこそ、ずっと変わらず「多摩丘陵」「多摩地方」での古道探索を続け、有志同士が共に楽しみながら30年の間活動してこられたといえるだろう。

古街道の構造や、一般的にはあまり見ることもない遺跡のデータを合わせて昔の歴史景観を復元し、先人たちの暮らしの知恵や逞しく生き抜いた姿、協同性の素晴らしさを実感し、何らかの方法で現代生活に活かしていくれば素晴らしい。私たち志を持つ者同士が集まって活動する上での、それが大切な柱であり楽しみでもある。

今年2015年は日韓国交正常化50周年記念の年にあたり、日本政府と韓国政府は、共に今年こそ歩み寄りたいと様々な交流の場を創っている。

来年は、埼玉県日高市に西暦716年(巣鴨2年)に高麗郡が建郡された時から数えて1300年にあたる記念すべき年。これらが新しい地域研究活性の胎動につながることを願ってやまない。

宮田太郎団長と行くロマン探索ウォーク

《 申し込み不要 当日現地にて受付 参加費：団員 700円 一般 1,000円 会員のご夫婦・家族は各500円 大雨荒天のみ中止※下記参照 》
《 昼食：自由昼食（飲食店でも弁当持参でも可）水筒（飲料）・雨具等のウォーキング・グッズは各自でご持参下さい 宮田 携帯 090-7002-3431 》
(晴れいても、にわか雨・通り雨対策として雨具は必需品)
*詳細は歴史古街道団HP参照

今後の、天候による実施判断基準の変更についてのお知らせ

本年2月は気象庁の大雪情報にかなり翻弄され、中止を決定するも実際は晴れということがありました。かつ古街道団HPや会員のメール登録者への一斉中止配信を行いましたが、20人近い方々が実際に朝お越しになっている事実があります。
そこで運営会議で協議した結果、今後は、大雨や大風などのよほどの荒天でない限り、今後は“小雨でも実施”し、ウォーク途中で続行が難しい場合にのみ、その場の判断で、皆さんにお伝えして中止することがある——とさせて頂くことに致しました。当日の朝に判断が難しい場合は、携帯電話にお問い合わせ頂くことに変わりはありません。(当日朝6:30までに催行可否を決定します)よろしくお願い致します。

“シリーズの始まりはここから”※2月6日雨天中止の振替分の再実施 大山古街道の謎を探る①溝の口編

■日帰り探索ウォーク

2015年4月7日(火)

【内容】新シリーズが始まります。今回は2月6日に雪情報で中止となった第1回目の振替です。大山街道の歴史と、さらに前身にあたる「大山古街道（江戸時代以前の古代～中世の道）」も合わせて考えて、ルートや痕跡を推測していく、これまでにない見方での探索ウォークです。「二子」とは、多摩川を南に渡った川崎市側の二子新地アリアにルーツがあります。この地名の元は、二つの古墳（二子塚）がかつての古代道沿いにあったことに由来。そこは古代の条里制の名残と奥州古道と鎌倉古道、さらには府中街道や大山古道が交差する特別な場所です。いよいよ多摩丘陵に入っていく“大山古道”を探っていきましょう。



【コース】東急田園都市線「二子新地駅」改札口前に午前10時集合～多摩川を渡る旧大山街道跡～二子神社と岡本かの子文学碑～鎌倉古道～二子塚（古墳）跡と、府中街道と奥州街道の交差点～旧二ヶ領用水流路～現在の二ヶ領用水～高津駅前で自由昼食～大山街道ふるさと館～亀屋～民権家・上田家～溝の口神社～宗隆寺～鎌倉古道と大山古道～ネモシリ坂～武藏溝ノ口駅。
解散は15時45分頃。行程約6km

～新シリーズ 第3弾！～

■日帰り探索ウォーク

大山古街道の謎を探る③市が尾・荏田編

2015年4月30日(木)

【内容】3月1日に実施した宮前平編の続きです。横浜市都筑区の地下鉄「中川駅」付近から荏田町との境界線を進んだ大山街道は、鶴見川水系の支流である早淵川を渡り、荏田城の麓にある荏田宿に至ります。市が尾は古代奈良時代の「武藏国都筑郡衙（役所）跡＝長者原遺跡」が見つかっていますが、遺跡発見以前にすでにこの付近の古街道探索会を何度も開催していた宮田団長は、郡衙や駅家の存在を推定し、当時から紹介していました。国府から金沢六浦湊への古代道の関係を含めてお話しします。



【コース】東急田園都市線「あざみ野駅」改札口前に午前10時集合～早淵川～鶴見神社～観福寺～老馬鍛冶山不動堂～大山街道～荏田下宿庚申塔～荏田宿常夜塔～荏田城址～小黒谷戸地蔵～荏田駅前で自由昼食～長者原遺跡～朝光寺原遺跡と古墳跡～市が尾駅
解散は15時30分頃。行程約5km

古街道団・総会終了後の特別イベント

参加費無料!!
お気軽にご参加下さい

■日帰り探索ウォーク

幻の大栗川石を探せ！(多摩川と大栗川合流点)

2015年5月24日(日)

【内容】総会の終了後に、会員の親睦を深めることを目的に、珍しい大栗川の名石を探して鑑賞する現地探索会を行ないます。この石は知る人ぞ知る、水石愛好者の中では珍重される名石です。
今回は20年ほど前にも大栗川石の観察会を行なった経験がある団長がご案内します。春の野鳥があそぶ河原で、ゆっくりと夕暮れまで皆さんと遊びましょう。



【コース】14時45分 聖蹟桜ヶ丘駅前のOPAビル1階のスターバックス前広場集合（総会終了後の開催です。総会=13時30分～14時30分 関戸公民館=VITA8階*聖蹟桜ヶ丘駅前）
皆さんと一緒に揃って「関戸渡し場道」をたどり、多摩川の関戸橋のたもとから、大栗川と多摩川の合流地点を目指します。
～17時30分現地にて解散。駅まではご案内します。
申し込み不要。参加無料。（どなたでもお気軽に）簡単なおやつの差し入れなども大歓迎！野草ハーブティーも予定しています。

※この日は雨天（小雨でも）中止とさせて頂きます。実施の可否は14時45分の集合時に決定し発表させて頂きます。

当日の問い合わせは宮田の携帯（090-7002-3431）または、須知事務局長（090-3695-7580）まで。

～新シリーズ 第4弾！～

■日帰り探索ウォーク

大山古街道の謎を探る④市が尾～青葉台編

2015年6月22日(月)

【内容】鶴見川沿いには、古代の古墳群が点在しています。鶴見川に面して、広がっていた様々な時代の遺跡群、そして川を渡る大山街道は、東名高速道路の横浜青葉ICの北西付近の丘陵地を上っていました。新興住宅地の中に、大山街道がどのように遺されてきたかを、藤ヶ丘や青葉台付近に探ります。

【コース】東急田園都市線「市が尾駅」西口改札口前に午前10時集合～大山街道～竹下地蔵堂～市が尾横穴古墳群（市が尾遺跡公園）～猿田坂入定塚跡～旅籠綿家～鶴見川～一里樋～柿の木台の大山街道～医薬神社～藤ヶ丘の大山街道～藤ヶ丘駅周辺で自由昼食～青葉台の大山街～青葉台駅。解散は15時45分頃。行程約5km

～ 渡来文化の口マン～

高麗若光と高麗人たちの足跡を探る

■歴史口マン座学講座

2015年 7月28日(火)

【内容】 来年は埼玉県日高市の「高麗建郡1300年祭」の開催年です。来る10月24日(土)には、埼玉女子短期大学(日高市女影1616)で開催される『高麗建郡1300年記念事業・市民講座「高麗郡1300年大学」第Ⅰ期』にて午後から宮田団長が「相模と武藏の“渡来文化口マン地帯”を歩く」と題してお話をすることが決定しました。今回はそれに先んじて、西暦666年頃に関東に高句麗国から亡命してきた人々とそのリーダー高麗若光(玄武若光)についてお話しします。

～ 新視点！甲州盆地の古代史口マン～ “酒折宮と葡萄の道”の謎

■歴史口マン座学講座

2015年 8月25日(火)

【内容】 諏訪湖や甲州盆地は日本列島のへそともいべき、列島の真ん中に位置しています。有名な甲州ワインに使用する葡萄の原種「甲州種」は、山梨県立博物館の調査でシルクロードの西域南道のホータンの葡萄とDNAが極めて近いことが判明しています。それはいったいいつどうやって甲州に伝えられたのか、また酒折宮との深い関係や、盆地全体を区割りした古代の基軸線・中道往還の不思議な話を新視点でお話しします。

みやたたろう 2015年4月～7月の外部講座と旅

■ 4月8日(水) 駅集合・日帰りウォーク 『厚木七沢の大山古道と巡礼街道の里(ニッポンのカントリーロード①)』	主催:NHK学園・国立本校オープンスクール *随時入会OK 要申込み
■ 4月9日(木) 駅集合・日帰りウォーク『大山街道とヤマトタケル道(相模原市古淵・大沼)』	主催:相模原カルチャーセンター *要申込み
■ 4月14日(火)/25日(土)/5月7日(木) 各同内容 駅集合・日帰りウォーク『高麗人大移動の道シリーズ(京王高尾線山田駅)』	主催:クラブツーリズム(歴史の旅・街道やじきた) *要申込み(お早目に)
■ 4月16日(木) 駅集合・日帰りウォーク 『国領の高麗人伝説と“キトラ関連遺跡の謎”(京王線布田・国領)』	主催:(株)京王観光キングツアーアー *要申込み
■ 4月19日(日) 駅集合・日帰りウォーク『たまプラーザの源氏伝説と平家伝説の謎』	主催:多摩らいふ俱楽部 *会員登録必要 要申込み
■ 4月22日(水) 一日講座イベント・ウォーク 『八王子滝山城と鎌倉古道を探る』*単発イベント	主催:NHK学園・国立本校オープンスクール 要申込み
■ 4月27日(月) 駅集合・日帰りウォーク『平山城址の鎌倉古道と大型豪族居館の謎』	主催:多摩らいふ俱楽部 *単発イベント 要申込み
■ 5月12日(火)/14日(木)/16日(土) 各同内容 駅集合・日帰りウォーク『高麗人大移動の道シリーズ(深大寺)～深大寺の渡来人物語と白鳳仏の謎～』	主催:クラブツーリズム(歴史の旅・やじきた) *要申込み
■ 5月13日(水) 駅集合・日帰りウォーク 『神奈川の浦島太郎伝説の里を歩く(ニッポンのカントリーロード②)』	主催:NHK学園・国立本校オープンスクール *随時入会OK 要申込み
■ 5月17日(日) 『新視点！あきる野の大塚は古代測量台だった！』	主催:多摩らいふ俱楽部 *会員登録必要 要申込み
■ 5月20日(水) 2泊3日関西方面(飛鳥)ツアー ～22日(金)『“キトラ”的謎と飛鳥の古代街道～新視点！明日香の渡来人と国造りロマン～』	主催:NHK学園・くにたちオープンスクール *要申込み
■ 5月25日(月) 駅集合・日帰りウォーク『座間の湧水の里“長宿”をあるく』	主催:相模原カルチャーセンター *要申込み
■ 5月29日(金)6月19日(金)7月3日(金)連続・座学講座*各回別内容『歴史古街道の里“多摩丘陵”～国内最大級の「古代道」と「鎌倉古道」の謎～』 第1回 5月29日:飛鳥・奈良の都まで続いていた古代街道 第2回 6月19日:散歩・蓼科高原「縄文大街道」と大栗川 第3回 7月3日:古街道学のすすめ～鎌倉街道と古代街道	主催:八王子市生涯学習センター南大沢分館 市民自由講座 *要申込み TEL042-679-2208
■ 5月30日(土) 駅集合・日帰りウォーク『狛江古墳群と高麗人の道』	主催:京王観光キングツアーアー *要申込み
■ 6月9日(火) 駅集合・日帰りウォーク『鎌倉街道と“原町田宿”的謎』	主催:相模原カルチャーセンター *要申込み
■ 6月10日(水) 駅集合・日帰りウォーク 『相模湖・千木良の里山古道(ニッポンのカントリーロード③)』	主催:NHK学園・国立本校オープンスクール *随時入会OK 要申込み
■ 6月16日(火)/25日(木)/27日(土) 各同内容 駅集合・日帰りウォーク『高麗人大移動の道シリーズ(国領)～国領のキトラと虎豹姫の島～』	主催:クラブツーリズム(歴史の旅・やじきた) *要申込み
■ 6月21日(日) 駅集合・日帰り 『義経の兄・今若伝説の丘と弥生・古墳時代遺跡』(川崎市多摩区)	主催:多摩らいふ俱楽部 *会員登録必要 要申込み
■ 7月8日(水) 駅集合・日帰りウォーク 『厚木市荻野の関東山の辺の道を歩く(ニッポンのカントリーロード④)』	主催:NHK学園・国立本校オープンスクール *随時入会OK 要申込み
■ 7月19日(日) 駅集合・日帰りウォーク『百濟国渡来人・王辰爾と朝鮮鐘の謎』(埼玉県所沢市)	主催:多摩らいふ俱楽部 *半年一括・要申込み

お問い合わせ

- NHK学園オープンスクール 国立本校 ☎ 042-572-3901 <http://www.n-gaku.jp/lifelong-school/kunitachi01/lture.gr.jp>
○NHK学園オープンスクール くにたちスクール ☎ 042-574-0570 <http://www.n-gaku.jp/lifelong-school/kunitachi02/>
○相模原カルチャーセンター ☎ 042-786-2821 <http://culture.gr.jp>
○クラブツーリズム 歴史の旅 ☎ 03-5323-6940 ○京王観光キングツアーアー ☎ 0120-112-615
○多摩らいふ俱楽部 ☎ 042-526-7777

ガイドリー・ダードーと行く史跡探素!

青梅の名刹・古社・勝沼城跡と昭和浪漫を訪ねる

— 青梅今昔ものかたる ① —

【内容】青梅地方は古くから「杣保」と呼ばれ、材木の生産・流通拠点として繁栄していました。室町時代後期に将門の後裔と自称する武藏三田氏は勝沼城を本拠地とした国衆として活躍をしていましたが永禄4年(1561)に滅亡し「多摩地方の悲劇の三武将」の一人と云われています。周辺には将門・三田氏に関連した伝説・伝承・神社仏閣などが残されています。江戸時代初期(1606年頃)に成木・小曾木の石灰が江戸城築城資材として使われ、成木往還を利用して搬出されていました。大正7年(1920)に石灰運搬線の「黒沢専用鉄道」が敷設されましたが2年後には撤去され、現在は道路になっています。旧青梅宿には邦画・洋画の映画看板で彩られ、昭和の生活雑貨を集めた昭和レトロ商品博物館・昭和幻燈館などがありノスタルジーな時が流れています。

【コース】JR青梅線青梅駅10:00集合～梅岩寺～住吉神社～映画看板通り～乗願寺～大塚山公園(昼食地)～成木往還～虎柏神社～天寧寺・古道跡～勝沼城跡～妙光院～光明寺・師岡神社～東青梅駅 15:00頃 解散予定(約7km)

※都合により変更の場合有り

2015年
4月26日(日) ガイド 山下 実(団員)

連絡先 / 山下 実 ☎ 090-5208-3123



▲ 天寧寺(東京都史跡)



▲ 勝沼城堀底道(東京都史跡)

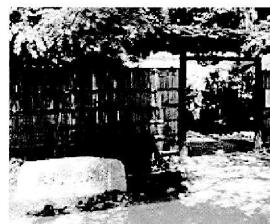
牟礼の里の古道を歩く

— 人見街道と古代東海道の分岐点 —

2015年
5月16日(土) ガイド 富田昭夫(団員)

連絡先 / 富田 昭夫 ☎ 080-6754-1800

【内容】8世紀の一時期、武藏國府(府中)から下総國府へ向かう古東海道があったことが知られている。しかし、どこを通過していたかはいくつかの説が提示されているが、いまだ確定していない。今回は、国府から乗瀬駅までのルートではじめ、人見街道と一緒にあったルートが三鷹の牟礼で分岐し、北上して乗瀬駅に達するルート説の途にある牟礼の里を中心に歩く。人見街道との関係を考えてみたい。牟礼の里は昔、渡来人の移り住んだ村だという説がある。今では開発が進み、共同住宅、戸建て住宅が建ち並び、昔の面影はなくなっているが、北に井の頭公園、南に深大寺と古い集落に隣接するロケーションにあり、わずかに残る古の原風景を求めて歩く。



▲ 牟礼の里公園入り口



▲ 牟礼の里公園

【コース】京王井の頭線 三鷹台駅10:00集合～玉川上水 宮下橋～井の頭橋～牟礼里公園～三鷹台団地付近で昼食(ファミレスで各自自由昼食)～三鷹一小前～北野稻荷神社～真福寺～小峰神社～三鷹台駅

稲城市郷土資料室見学と平沢地区の歴史散策

2015年
5月31日(日) ガイド (進藤重孝 横田泰次 団員)

連絡先 / 進藤 重孝 ☎ 080-1231-8185

【内容】稲城市郷土資料室には、市の自然、原始古代から現代までの歴史、民俗、教育と標本資料の分野が30のテーマに分けて展示されています。「歴史展示室」には、縄文時代の土器や石器、奈良時代の国分寺瓦、江戸時代の古文書、近代現代の文献資料などが展示されている。「民俗展示室」には、農作業で使われた道具、年中行事の道具、多摩川の漁労具、江戸の里神楽の衣装や道具など、稲城の民俗風土を感じができるものが展示されている。1889年(明治22年)に稲城村として誕生してから100年以上の歴史を刻んできた稲城市を理解して頂けると

思います。

平尾地区の地形上の特徴は、自然河川が麻生川に合流し鶴見川に注ぐことです。稲城には10地区ありますが、他の9地区の自然河川は三沢川や大丸用水を通じて、多摩川に注いでいます。

平尾台原遺跡は、縄文から奈良までの住居跡など42,000m²の遺跡です。

平尾の杉山神社は、鶴見川流域にある72社中、最上流(旧都筑郡)に鎮座しています。

このほかの見どころもあり、奮ってご参加を!

【コース】京王相模原線若葉台駅 9:30集合～若葉台総合高校前～稲城市第二中学校前～光仙婆さんの祠前～郷土資料室(複合施設ふれんど平尾2階)～平尾台原遺跡～平尾近隣公園(昼食)～入定塚～十三塚～道陸神の石塔～原経塚～杉山神社～上平尾バス停(小田急バス)15:30頃 解散予定

※ 各コースとも

参加費 団員 500円 (団員家族1名同行 700円) 一般は一名700円 (資料代&保険料共)

[8/7・8/10の半日ウォークは 団員 300円 (団員家族1名同行 500円) 一般は一名500円]

事前申し込み不要。当日現地にて受付。雨天時は中止。(小雨決行。当日朝7:30までに各連絡先にお問い合わせ下さい。)

昼食(弁当)・飲料・敷物・雨具等ウォーキンググッズは各自ご持参下さい。

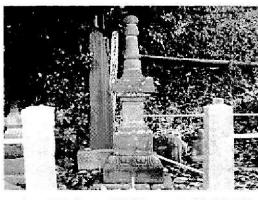
実施要領は、チラシまたはホームページにてご確認ください。

大栗川を歩く(その4)

“大栗川北側の古社と古刹巡り”

【内容】「大栗川を歩く」第4回目今回のテーマは、大栗川北側の古社、古刹めぐりの予定です。

堀之内駅を出て、松木の浅間神社と松木七郎墓の宝篋印塔を見、太田川・大栗川合流点へ。そして大石宗虎館跡と天然記念物サルスベリの木などを見て、その後大栗川のさんもり橋を渡り越野地区に入ります。玉泉寺は、開創が南北朝時代永徳3(1383)年の古刹。日枝神社は、創建が天正18(1590)年の古社、別当寺が玉泉寺。越野観音堂は、武相13番觀



▲ 松木七郎墓の宝篋印塔

2015年

6月13日(土) ガイド 大栗川倶楽部(団員)

連絡先 / 斎地 カズエ ☎ 090-6184-9060

音札所。廃寺になった導儀寺の石像が僅かに保存され、堂内には「裳掛けの観音」と呼ばれた木造聖観音菩薩坐像が祀られていますが、卯年にのみ公開されています。さて、ここからは野猿街道の旧道に入り永林寺へ参ります。開創天文元(1532)年、大石定久公の開基。そして開山は、定久公の叔父・長純です。第3回目で歩いた勝五郎生家跡付近にあった勝五郎の墓は、現在永林寺にあります。次に御獄神社に上がります。創建は天文2(1533)年。天然記念物のスダジイの雄姿をご覧ください。永林寺薬師堂、下柚木の馬場地区の野仏などを見て、柚木中央バス停で解散の予定です。

【コース】京王相模原線「京王堀之内駅」改札口前 10:00集合・出発 (散策5~6km位)

松木～太田川・大栗川合流点～玉泉寺～永林寺～御獄神社～野仏 (15:00頃 解散予定)

蛇より行事見学

- 稲城市百村の奇祭 -

【内容】稲城市百村の妙見尊では、毎年8月7日に蛇より祭が行われます。この祭は、江戸時代初めの寛文2年(1662)から始められ、北斗七星になぞられた百村の旧村民の中から選ばれた7名が萱場から萱を刈り取り、これを奉賛会会員が集まって長さ100~150m程の大蛇の形に拂り上げ、妙見尊下の鳥居から石段に沿って安置するという行事です。

人々は、村境(ムラサカイ)で魔や疫病をはやらせる神などが出入りするのを防いだり追い払ったりする為に注連縄(または

2015年

8月7日(金) ガイド 須知正度(団員)

連絡先 / 須知 正度 ☎ 090-3695-7580

藁で作った蛇)を張って備えるなどの道切り行事であったと考えられます。

「蛇」というよりも「龍」だよ!

「毎年8月7日」に行われるるのは、なぜ?

「多摩川」とは関係があるの?

謎の多い稲城百村の奇祭!

奮ってご参加を!!



【コース】京王相模原線稻城駅改札口集合(13:30)～妙見尊・妙見寺(17:30頃迄)

確定の行程等は、チラシとHPでお知らせします。

黒地蔵縁日に 鎌倉・覚園寺を訪ねる

【内容】毎年8月10日は、覚園寺地蔵堂に祀られている地蔵菩薩(通称・黒地蔵さん)の縁日で、この日にお参りするとその方のご先祖は、地獄の業火をのがれ、極楽往生できると言われています。いつもは静かな覚園寺もこの日ばかりは多くの参詣者でにぎわいます。このほか覚園寺の薬師堂や愛染堂には重要文化財に指定された仏像も多く、この日は全堂開扉され参拝することができます。

昨年も同じ企画で行おうと計画しましたが、



2015年

8月10日(月) ガイド 藤田一彦(団員)

連絡先 / 藤田 一彦 ☎ 080-5184-9840

台風で中止のやむなきにいたり、あらためて今年行いたいと思います。夏の盛りで暑さが予想されますので、午前中覚園寺に参拝し、一次解散とし、午後は、元気のある方は最近整備のなった永福寺跡、理智光寺谷の護良親王墓などに回ります。

なお当日は、覚園寺境内に移築されています古民家で、お粥とにら餅を食べることができますので、それを食べる方は昼食は持参しなくても大丈夫です。

【コース】JR鎌倉駅 東口改札前 10:00集合～バスで鎌倉宮～覚園寺(午前一次解散)～理智光寺谷護良親王墓～永福寺跡～鎌倉宮よりバスで鎌倉駅へ または徒歩で頼朝墓経由鎌倉駅へ(15:00頃 解散予定)

好評!月例ウォーキング

歩きたい道500選の1つ 多摩よこやまの道を歩こう!!

- 4月12日(日) ■5月10日(日) 【内容】毎月定期的にミニ・ガイドウォーキングとして実施しています。「よこやまの道」は多くの古道と重なり交叉し、それらの痕跡や伝説も多く、古道や歴史に関心のある方々に愛好されています。また、里山の自然が残っており、四季の移り変わりを楽しめます。
- 6月7日(日) ■7月12日(日) ガイド／須知正度(団員)
(連絡先 090-3695-7580) 参加費／団員300円 一般500円
(団員家族1名同行 500円)
- 野鳥や植物観察もしながら、この豊かな道を歩き・感じ・味わってみませんか?
- 下記の東・西のコースを、毎回、季節やテーマに合う所を訪ね、行程を変えて歩きます。
- (詳細は、チラシとホームページで告知)
- ガイドが伝行事等の謎解き、季節の万葉歌朗詠・解説を行います。

【東コース】京王相模原線若葉台駅 9:00集合

5月10日:丘の上広場～さくらの広場～防人見返りの峠～謎の並列古道跡～大犬久保～妙櫻寺～京王バス多摩車庫方面へ
7月12日:若葉台公園～上谷戸～上谷戸親水公園～高勝寺～三沢川分水路～常楽寺～京王相模原線稻城駅

【西コース】小田急多摩線唐木田駅 9:00集合

4月12日:総合福祉センター～(奥州廃道)～よこやまの道～石仏群～奥州古道(中尾道)～一本杉公園～鎌倉古道～妙櫻寺～京王バス多摩車庫方面へ
6月7日:総合福祉センター～(奥州廃道)～小山田緑地～アサザ池～奥州古道～よこやまの道～唐木田駅へ

勉強会『ホリワリ探索におけるGIS活用術』～古代東海道足柄路のルート推定を例に～

- 日 時：2015年8月29日(土) 14:00～16:00
■会 場：多摩市関戸公民館 大会議室(VITA 8階)
*京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口 徒歩3分
■講 師：風間 武(団員)
■参加費：団員1人500円(家族1名同席700円)
一般1人700円

*申込み不要 当日会場にて受付 先着90名



▲足柄峠

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、
同院発の電子地形図(タイル)及び基盤地図情報を使用した。
(承認番号/平26情使 第497号)

【内 容】古道探索にもGIS(地理情報システム)活用の時代が
来ました。デジタル地図に様々なデータを重ねて表示できる
のがGISの特徴。例えば、レーザー航空測量による細密な標高
データを使えば、パソコン画面上で掘割状道路痕跡“ホリワリ”
を見つけることもできます。また、ネット上にある明治以降の旧
版地図や戦後の米軍空撮写真を使えば、旧道の位置を特定す
ることも簡単です。さらに、携帯型GPS機器をカーナビの様に
利用することで、現地確認もとても楽になりました。本勉強会

では、古代東海道足柄
路のルート推定を例に、
GISを活用した探索手
法を図や写真を使って
ご紹介いたします。歴
史に埋もれた古道を
探し出し“ホリワリ”と
出会う楽しみを、皆様
にお伝えできればと思
います。

*次ページに関連記事

小田原市の足下郡家比定地周辺に残る古代の条里地
割と幅約7mの余剰帶。(道しろ)
(1946年8月の米軍空撮写真に加筆)

▲米軍空撮 条里余剰帶

歴史古街道団総会開催

2015年歴史古街道団の総会を下記の通り開催いたします。
団員の方々のご出席をお願い申し上げます。

記

- 日 時 2015年5月24日(日) 午後1時30分より
会 場 多摩市関戸公民館 大会議室(VITA 8階)
議 題 ① 2014年度 活動報告
② 2014年度 会計報告及び会計監査報告
③ 2015年度 活動方針案審議
④ 2015年度 予算案審議
⑤ 2015年度 運営委員選任
⑥ その他

なお総会終了後 大栗川と多摩川の合流点付近の河原にて、ハ
ーブティーなどを飲みながら幻の大栗川石を探すなど楽しく遊ぶ会
を開催いたします。参加費無料ですのであわせてご参加ください。

団員募集

団員には、団主催行事参加費を割引、歴史古道ニュース(団報)をお送りします。年会費
は3,000円(4月より翌年3月まで。10月以降
入団は1,500円)

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、「入団」とご記入いただき、御自分の
住所・氏名も記入し、年会費をお振込みください。
ウォーキング参加時等に、団役員へお申し出いた
だいても、手続きをいたしますのでお気軽にどうぞ。

【振込先】

口座名：歴史古街道団
郵便振替口座番号：00140-7-445195

なお歴史古街道団財政逼迫で、もうしわけありません
が、今年度より口座振込み手数料を、振込み人ご本人様
負担とさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いも
うしあげます。



「ホリワリ探索の楽しみ」 (あらためての自己紹介と御礼)

風間 武(団員)

思い起こせば、最初に団長や皆様と一緒に歩かせて頂いたのは、昨年6月の虎ノ門・霞ヶ関ウォークでした。以来、団HPの「談話室」に謎の書き込みを繰り返す、古道地形マニアな私を暖かく迎え入れて頂きありがとうございました。皆様とおしゃべりしながら古道を訪ね歩くのは、私にとって至福の時です。

何人かの皆さんにはお話をしましたが、この道に入るきっかけは20年ほど前、長野県の伊那谷で発掘された東山道駅路遺構を見学したことでした。柴登巳夫さんという学芸員の方に丁寧に案内して頂き、古代の直線道の威容に圧倒されました。今にして思えば、駅路研究の最先端を覗き見た得がたい経験でした。なお、この方は後に箕輪町郷土博物館館長をお務めになられるなどご活躍のようです。

長いブランクを経てマニア心に火がついたのは、鎌倉街道中ノ道が自宅(横浜市の鶴ヶ峰)脇を通過していることに気付いた一昨年でした。謀反の罪を着せられ討たれた御家人・畠山重忠の墓所の存在に気付き、ネットで調べてみたのが始まりです。この際、尾根上にも上の道との連絡路「重忠道」が走っていたことが分かり、延長線上の山林に1間幅のそれらしき掘割道を見つけました。歴散加藤塾の加藤塾長にもお世話になりました。

その後、古道探索のお手本としたのが、ご存知のwebサイト「道・鎌倉街道上道(埼玉編)」です。掲載されている古道を片端から歩きました。特に、箱根路西坂の平安・鎌倉古道や那須烏山市の

東山道遺構「将軍道」、長野一群馬県境の碓氷峠では、痕跡の明瞭さ、スケールの大きさに感動しました。この場を借りて、お礼申し上げます。

また、鎌倉周辺に古代道や城郭の痕跡を探るというテーマに一時期はまり、結局、手がかりの少なさからギブアップしました。勝手なトンデモ説を作り出さないためには、先達の論文や発掘調査報告書、地誌、古地図など基本資料にきちんと当たる必要があることを学びました。素人の限界を感じていたときに、歴史古街道団の存在を思い出しました。

団HPに掲載されている過去のチラシを参考に、ウォークのルートを想像し、多摩丘陵を中心に歩き回りました。団長の書かれた『鎌倉街道伝説』も熟読しました。さっさと入団すればよかったですですが、古道探索に情熱を傾けるながら和製インディージョーンズの団長とその仲間たち、といったイメージがあり敷居の高さを感じていました。

思い切って入団した後の私については、皆様よくご存知通りです(笑)。ブログ「ヨコハマ古道紀行」では、古道痕跡の掘割状地形のことを「ホリワリ」と名付け、試行錯誤のプロセスも隠さずに探索記録を公開しています。最大の目的は先輩の皆さんからアドバイスを頂戴することですが、ホリワリ探索の楽しみを少しでも多くの方に知って頂ければとも考えています。今後ともご指導・ご鞭撻よろしくお願ひいたします。 ※前ページ関連記事あり

のらぼう菜とモズの習性

松本 まゆみ(団員)

近辺を方々ほっつき歩いていると面白い話に出くわす。武藏五日市の言い伝えに出会った。武藏五日市(あきる野市)は度々訪れる。緑の山々や畠を見ると生き返るような気がする。私の住んでいる多摩市もそれなりに緑に囲まれていて住み心地は悪くない。しかし、計画通り人工的にレイアウトされた町並みは端正だがやはりそれは人為的なのである。武藏五日市は奥多摩より一步近いので短時間で行くことができる。

小峰都立公園の管理事務所には数人の都職員が常駐している。都民の憩いの場所として、イベントをいろいろ計画してくれて、様々なことを教えてくれる。植物、昆虫、小動物などを四季折々観察出来る。最近そこで大いに気に入った話を仕入れた。

春先にいち早く出回る野菜に“のらぼう”がある。妙な名前にいささか気になっていた。畠の端の道にある無人の販売所で一束100円ほどの値が付いている。春を食べると云うことでなかなかの人気でどこででも見かける。菜の花の咲く寸前の柔らかい菜っぱ(アブラナ科)である。都内のスーパー・マーケットでも見かけることがある。かき菜とかノラボウと名前が付いている。ところが武藏五日市産だけが“のらぼう”だというので何か特別の種類かと思っていたが、なんの変哲もない同じものなのである。何とも変だなあと常常思っていた。都立公園の案内である市の内を歩いて説明を受けて納得したのだ。

その言い伝えとは、江戸時代の大飢饉の折、五日市の人々は寒さや病害虫に強い野良坊菜で食いつなぎ救われた。噂を聞きつけた木っ端役人がやって来て、その野良坊菜に税金をかけようとした。村の中の知恵者が「お役人様、あれはそこらの野っぱらにボーッと立っているただの草でございます」と説明したそうだ。役人は「ふーむ、なるほどそうか!」と納得して課税を免れたのだと云う訳で、五日市では歴史のある“のらぼう”という特別の野菜となったとのことである。あきる野市の子生(こやす)神社の片隅にひっそりと立つ野良坊之碑はこのことを伝えている。

それにしても村の知恵者には感心する。同じような話が多摩市もある。鍋弦(なべつる)の話である。江戸時代に一般の村人は鶴を捕まえることは御法度だった。と云うのも鶴は將軍の鷹狩りの折の最高の獲物であった。ある日、鶴巻村(当時鶴が多く生息していた)の若者が誤って鶴を捕まってしまった。その噂を聞きつけた木っ端役人がやって来て、その若者を引っ捕らえて処罰しようとした。そこにまた村の知恵者がやって来て取りなし曰く「イヤイヤ、例の鶴の話とは鍋の弦のことでござりますよ!」と。それで役人は引き下がったとのことである。これまたこの話に基づき路地の一角にモニュメントがある。

それにつけてもこのような臨機応変な知恵、身につけたいものである。

木々の葉もあっと言う間に繁ってきて、若葉も緑が濃くなってきた。外歩きにはもって来いの季節だ。多摩市周辺、御岳、奥多摩と方々歩いているとまた面白い話を耳にした。御岳のバードウォッチングの帰りにモズに関する珍説を聞いた。モズの習性で特徴的なことは尾をグルッと回すことだ。他の鳥はせいぜい上下に上げ下げする程度だ。セキレイの類は割に激しく上下に動かす。鳥の尾は体長の部分を占っている。体のバランスを保つのに大いに役立つし、飛び立つ前の反動で動かすのはよく見かける。遠くにとまっている鳥を見て、鳴き声で分からぬ時、尾を回すのを見るとモズだと直ぐ断定できる。さらに、モズは“はやにえ”といって、枝の先などに力エルとかトカゲとかを突き刺して食料をストックするのはよく知られている。物知り氏曰く、モズは肉食である。と言うことは、草食の動物(牛とか鳥)と違って糞が臭い。従ってオナラも臭い。モズは自分のオナラが臭いので尾で搔き回して拡散させているのだそうだ。初めて聞く話で思わず笑ってしまった。真偽のほどはモズに尋ねるしかない。



歴史古街道団 予定表 (2015年4月～2015年8月)

※注 (団)=歴史古街道団 【宮田】=宮田太郎ウォーカー 【学】=講演会・学習会 【ガイド】=ガイドリーダーウォーカー

月日	集合場所・時間	探索・学習テーマ	参加費	申込み	問合せ先
4月7日(火)	東急田園都市線「二子新地駅」改札口前10:00	【宮田】新シリーズの始まりはここから！『大山古街道』の謎を探る① 溝の口編	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL:090-7002-3431
4月12日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:00	【ガイド;須知】月例ウォーキング 多摩よこやまの道を歩こう！西コース 百花繚乱の季節、緑の中を歩こう！	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL:090-3695-7580
4月26日(日)	JR青梅線「青梅駅」改札口前10:00	【ガイド;山下】青梅今昔ものかたる①～青梅の名刹・古社・勝沼城跡と昭和浪漫を訪ねる～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)山下 TEL:090-5208-3123
4月30日(木)	東急田園都市線「あざみ野駅」改札口前10:00	【宮田】新シリーズ第3弾！『大山古街道』の謎を探る③ 市が尾・往田編	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL:090-7002-3431
5月10日(日)	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:00	【ガイド;須知】月例ウォーキング 多摩よこやまの道を歩こう！東コース 推定古代東海道、防人達が歩いた道！	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL:090-3695-7580
5月16日(土)	京王井の頭線「三鷹台駅」改札口前10:00	【ガイド;宮田】牟礼の里の古道を歩く～人見街道と古代東海道の分岐点～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)宮田 TEL:080-6754-1800
5月24日(日)	多摩市関戸公民館8F大会議室 13:30～14:30 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【総会】歴史古街道団2015年度総会	団員限り	事前申込 (葉書にて)	(団)宮田 TEL:090-7002-3431 (団)須知 TEL:090-3695-7580
5月24日(日)	多摩市関戸公民館1階スターバックス前 14:45 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩1分	【宮田】河原そぞろ歩き会 『幻の大栗川石を探せ！』～多摩川と大栗川の合流点へ～	参加費無料	当日	(団)宮田 TEL:090-7002-3431 (団)須知 TEL:090-3695-7580
5月31日(日)	京王相模原線「若葉台駅」改札口前9:30	【ガイド;進藤・横田】稲城の歴史と民俗を訪ねる 『稲城市郷土資料室見学と平沢地区の歴史散策』	団員:500円 一般:700円	当日	(団)進藤 TEL:080-1231-8185
6月7日(日)	小田急多摩線「唐木田駅」改札口前09:00	【ガイド;須知】月例ウォーキング 多摩よこやまの道を歩こう！西コース 奥州古道を歩き、可憐なアザサを見よう！	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL:090-3695-7580
6月13日(土)	京王相模原線「京王堀之内駅」改札口前10:00	【ガイド;大栗川俱楽部】大栗川を歩く-その4～大栗川北側の古社と古刹巡り～	団員:500円 一般:700円	当日	(団)齊地 TEL:090-6184-9060
6月22日(月)	東急田園都市線「市が尾駅」改札口前10:00	【宮田】新シリーズ第4弾！『大山古街道』の謎を探る④ 市が尾～青葉台編	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL:090-7002-3431
7月12日(日)	京王相模原線「若葉台駅」改札口前09:00	【ガイド;須知】月例ウォーキング 多摩よこやまの道を歩こう！東コース 上谷戸から稲城の高勝寺、常楽寺へ！	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL:090-3695-7580
7月28日(火)	多摩市関戸公民館8F大会議室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】～相模と武藏の渡来文化ロマン～『高麗若光と高麗人たちの足跡を探る』講師:宮田太郎団長	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL:090-7002-3431
8月7日(金)	京王相模原線「稲城駅」改札口前13:30	【ガイド;須知】稲城市百村の奇祭！妙見尊の『蛇より行事』見学	団員:300円 一般:500円	当日	(団)須知 TEL:090-3695-7580
8月10日(月)	JR横須賀線「鎌倉駅」東口改札口前10:00	【ガイド;藤田】縁日に地蔵菩薩詣で『黒地蔵縁日に鎌倉観音寺を訪ねる』	団員:300円 一般:500円	当日	(団)藤田 TEL:080-5184-9840
8月25日(火)	多摩市関戸公民館8F大会議室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】新視点！甲州盆地の古代史ロマン『酒折宮と葡萄の道』の謎講師:宮田太郎団長	団員:700円 一般:1,000円	当日	(団)宮田 TEL:090-7002-3431
8月29日(土)	多摩市関戸公民館8F大会議室 14:00～16:00 京王線聖蹟桜ヶ丘駅西口徒歩3分	【学】～古代東海道足柄路のルート推定を例に～『ホリフリ探索におけるGIS活用術』講師:風間 武(団員)	団員:500円 一般:700円	当日	(団)風間 TEL:090-6347-6473

◆編集後記◆

遅くなりましたが、新年度4月から8月までの楽しい集いの予定をお届けします。真夏には涼しい室内での講演会・勉強会も開催されます。ご参加をお待ちします。

団の財政逼迫により、従来は団負担でした年会費の郵便振込み手数料を、今年度より振り込む方の負担とさせていただきたく、申し訳ありませんがよろしくお願い致します。 編集責任:歴史古街道団(藤田)

【発行】歴史古街道団

歴史古街道団 団長 宮田 太郎

本部:〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘
TEL:090-7002-3431

ホームページ <http://rekodan.a.la9.jp/>